



東北大学

東北大学学報

TOHOKU UNIVERSITY

No.1625 / 2005.12

東北大学入試センター開所式

(記事 7 ページ)



CONTENTS

目次

人 事 2

- ・ 人事異動

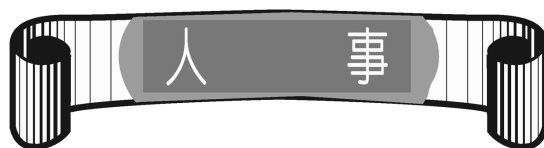
諸 報 3

- ・ 平成17年秋の紫綬褒章
- ・ 平成17年秋の叙勲
- ・ 東北大学入試センター開所式
- ・ 中村維男教授（情報科学研究科）がテイラー・ブース賞を受賞
- ・ 根元義章教授（大学院情報科学研究科）がIEEE から衛星通信貢献賞を受賞
- ・ 第4回東北大学男女共同参画シンポジウムを開催
- ・ 東北大学特色G Pシンポジウムを開催
- ・ 21世紀 COE プログラム「言語・認知総合科学戦略的研究教育拠点」第5回『言語・脳・認知』国際学術フォーラム

- ・ 国際シンポジウム「動物科学の新展開」を開催
- ・ 生命科学研究科「平成16年度研究科内グラント成果発表会」並びに「平成17年度研究科内グラント授賞式」
- ・ 「東北大学 電気・情報 東京フォーラム 2005」を開催
- ・ 名誉教授懇談会
- ・ 第2回東北大学新任教員研修
- ・ 平成17年度事務情報化研修
- ・ 平成17年度「セミナー東北の自然（秋）」《里山の自然観察》
- ・ 牛たちも越冬のため下山
- ・ 教育研究評議会議事要録
- ・ 役員会議事要録
- ・ 役員会議事要録
- ・ 役員会議事要録
- ・ 経営協議会議事要録
- ・ 1月行事予定
- ・ 本学関係の新聞記事一覧（平成17年11月分）



東北大学は2007年に創立百周年を迎えます。



多元物質科学研究所長に齋藤文良教授就任

多元物質科学研究所長に齋藤^{さいとうふみお}文良教授が平成17年11月6日付けで就任されました。任期は平成20年3月31日までです。

「略 歴」

昭和22年11月26日生

平成3年4月 東北大学選鉱製錬研究所教授

平成4年4月 東北大学素材工学研究所教授

平成13年4月 東北大学多元物質科学研究所教授

平成15年4月 東北大学多元物質科学研究所副所
長

**平成17年秋の紫綬褒章**

平成17年秋の紫綬褒章受賞者として、鈴木厚人教授（理学研究科）が選ばれ11月2日（水）に発表されました。伝達式及び拝謁は11月16日（水）に如水会館と皇居でそれぞれ行われました。

紫綬褒章は、「学術芸術の発明改良創作に関し実績著名なもの」に授与されるものです。

○大学院理学研究科教授 鈴木 厚 人

（昭和21年10月3日生）

〔略 歴〕

平成5年8月 東北大学理学部教授
平成10年4月 東北大学大学院理学研究科教授
平成14年4月 東北大学理学研究科長
平成14年11月 東北大学総長補佐
平成17年4月 東北大学副学長

（主な研究）

素粒子物理学の分野において、超新星爆発・太陽・大気・原子炉ニュートリノ観測を実現した。特に大気・原子炉ニュートリノ観測においてはニュートリノ質量の証拠となる振動現象を観測し、ニュートリノ物理を飛躍的に進展させるとともに、ニュートリノを使った融合研究の基礎を築き、素粒子物理学の発展に貢献した。

（受賞歴）

朝日賞（2回）、アメリカ天文学会高エネルギー天文物理部会 Bruno Rossi 賞、仁科記念賞

平成17年秋の叙勲

平成17年秋の叙勲が文化の日11月3日（木）に発表され、本学関係者から、次の方々が受章されました。
なお、瑞宝中綬章以下の伝達式及び拝謁は11月10日（木）国立劇場及び皇居で行われました。

○ 瑞宝中綬章

名誉教授 天 野 杲
(大正14年7月13日生)
(工学部)

[略 歴]

昭和46年4月 東北大学工学部教授
平成元年3月 停年退職
平成元年4月 東北大学名誉教授

(主な研究内容)

- ・高純度ベンゼンの製造に関する研究
- ・オレフィンの熱分解に関する動力学的研究
- ・ハロゲン化炭化水素の熱反応の動力学的研究
- ・有機硫黄化合物と水素原子との反応
- ・超低压熱分解法による熱分解機構の解明
- ・石炭液化反応の基礎研究
- ・超微粒子状金属の触媒作用
- ・担持ニッケル硫化物の相平衡と触媒作用
- ・石炭系重質油の水素化精製反応に及ぼす硫化水素の効果
- ・水素化精製反応における脱硫，脱金属の相互促進効果
- ・メタルポルフィリンを触媒とする水素移行反応

(学外における主な貢献等)

日本化学会東北支部長，石油学会理事，石油学会東北地区庶務理事，宮城県水質審議会委員

(受賞歴)

石油学会賞

○ 瑞宝中綬章

名誉教授 須 藤 一
(大正14年9月5日生)
(工学部)

[略 歴]

昭和39年6月 東北大学工学部教授
昭和47年4月 東北大学金属材料研究所教授
平成元年3月 停年退職
平成元年4月 東北大学名誉教授
平成2年4月 東北学院大学教授
平成5年3月 東北学院大学定年退職

(主な研究内容)

- ・金属セラミックス複合材料に関する研究
- ・合金の高温強度に関する研究
- ・鉄鋼材料の加工・熱処理による組織と強度に関する研究
- ・薄膜・材料界面の微細組織に関する研究
- ・セラミックスの組織と強度に関する研究

(学外における主な貢献等)

日本金属学会評議員・理事，村上記念会評議員
・理事，日本金属学会副会長，全国大学材料関係教室協議会会長，日本学術会議会員，村上記念会理事長

(受賞歴)

村上記念賞，日本工学教育協会業績賞

○ 瑞宝中綬章

名誉教授 滝 浦 静 雄
(昭和2年1月19日生)
(文学部)

[略 歴]

昭和46年12月 東北大学文学部教授
平成2年3月 停年退職
平成2年4月 東北大学名誉教授

平成2年4月 岩手県立盛岡短期大学長

平成9年4月 退職

平成9年9月 岩手県一関市立博物館長

平成12年10月 退職

（主な研究内容）

- ・現象学の新たな可能性を切り開いたこと。
- ・現象学と分析哲学という異質の哲学領域に大胆な架橋を試みたこと。

（学外における主な貢献等）

日本哲学会委員ならびに編集委員，学術会議審議会専門委員，「新岩波講座・哲学」全16巻，並びに「講座・現象学」全4巻に企画立案及び編集委員

○ 瑞宝中綬章

名誉教授 矢 田 慶 治

（昭和2年1月26日生）

（元科学計測研究所）

〔略 歴〕

昭和50年1月 東北大学科学計測研究所教授

平成2年3月 停年退職

平成2年4月 東北大学名誉教授

（主な研究内容）

- ・試料作成技術に関する研究
- ・電子顕微鏡鏡体に関する研究

（受賞歴）

日本電子顕微鏡学会の論文賞

（学外における主な貢献等）

日本電子顕微鏡学会会長・理事，応用物理学会理事，応用物理学会東北支部長

○ 瑞宝中綬章

名誉教授 吉 田 震太郎

（昭和2年2月12日生）

（経済学部）

〔略 歴〕

昭和39年4月 東北大学経済学部教授

昭和63年3月 辞職

昭和63年4月 東北大学名誉教授

昭和63年4月 専修大学経済学部教授

平成9年3月 定年退職

（主な研究内容）

- ・大蔵省預金部の発展史，関税史，シャープ税制の分析，地方財政論や公債論
- ・日本財政の発達史および現代財政論の再構成を行った。

（学外における主な貢献等）

日本財政学会理事

○ 瑞宝中綬章

名誉教授 島 田 義 弘

（昭和2年3月31日生）

（歯学部）

〔略 歴〕

昭和43年4月 東北大学歯学部教授

平成2年3月 停年退職

平成2年4月 東北大学名誉教授

（主な研究内容）

- ・大臼歯小窩裂溝のう蝕好発部位の予防的削去の開発
- ・集団検診に於ける隣接面う蝕検出への繊維光学照明装置の応用
- ・裂溝う蝕感受性菌の裂溝開角測定によるスクリーニング法の開発

（学外における主な貢献等）

日本口腔衛生学会監事，日本口腔衛生学会東北地方会会長，歯科医師試験審議会委員，歯科医師試験委員，学術審議会専門委員

○ 瑞宝中綬章

名誉教授 橋 本 嘉 幸

(昭和5年6月20日生)

(薬学部)

〔略 歴〕

昭和50年4月 東北大学薬学部教授

平成6年3月 停年退職

平成6年4月 東北大学名誉教授

平成7年10月 財団法人佐々木研究所所長

平成11年7月 学校法人共立薬科大学理事長

(主な研究内容)

- ・発癌研究
- ・免疫学研究
- ・薬物代謝学研究

(学外における主な貢献等)

文部省学術審議会専門委員，文部省大学設置・学校法人審議会専門委員，厚生省中央薬事審議会臨時委員，科学技術会議専門委員，日本免疫学会理事，日本薬学会理事，日本癌学会会長

(受賞歴)

高松宮妃癌研究基金学術賞，日本薬学会学術賞，紫綬褒章，日本癌学会吉田富三賞

○ 瑞宝小綬章

元事務局長 藤 村 和 男

(昭和10年9月23日生)

〔略 歴〕

昭和36年4月 文部事務官（文部省初等中等教育局財務課）

昭和42年11月 香川県教育委員会事務局

昭和50年4月 千葉県教育委員会事務局

昭和58年6月 文部省社会教育局社会教育課長

昭和63年6月 国立中央青年の家所長

平成3年4月 東北大学事務局長

平成4年6月 辞職

(功績)

永年にわたり，豊かな識見並びに卓越した手腕を持って文部行政等の発展等に貢献した。

○ 瑞宝単光章

元警務員長 遠 藤 榮 一

(昭和11年12月16日生)

(経理部)

〔略 歴〕

昭和37年4月 東北大学経理部経理課

平成8年4月 東北大学経理部経理課警務員長

平成12年3月 定年退職

(主な功績)

永年にわたり，環境保全及び警備業務に従事し，片平地区の警備業務の運営を円滑ならしめた。

○ 瑞宝双光章

元診療技術部長 佐々木 正 寿

(昭和19年7月29日生)

(病院)

〔略 歴〕

昭和51年5月 東北大学医学部附属病院放射線部放射線技師

平成6年4月 東北大学医学部附属病院放射線部放射線技師長

平成16年4月 東北大学病院診療技術部長

平成17年3月 定年退職

(主な功績)

永年にわたり，診療放射線技術業務の道一筋に後進の育成，放射線医学の進展に貢献し，診療放射線技術の向上に尽力した。

東北大学入試センター開所式

11月11日（金）午後4時から「東北大学入試センター開所式」が東北大学入試センターにおいて開催されました。

東北大学入試センターは、本学の教育・研究・経営戦略としての「入口ー出口」検討機能の強化を目的として平成17年4月に設立された組織です。

このたび旧半導体研究所を改修し、東北大学入試センターが竣工したことにより、開所式を挙行了たものです。

開所式には、部局長、入試関係委員会委員など約50名参加し、鴨池入試センター長挨拶の後、総長、菅井教育・学生支援担当理事、鴨池入試センター長によるテープカットが行われました。

開所式に引き続いて、入試センター施設案内の後、記念祝賀会が行われました。



（テープカット）

祝賀会では、総長からご祝辞をいただいた後、入試センター鈴木教授による「東北大学の入試ー現状と課題ー」と題するプレゼンテーションが行われました。ユーモアあふれるプレゼンテーションに、会場が爆笑に包まれる場面もあり、終始和やかな雰囲気で開催のうちに終了しました。

（教育・学生支援部入試課）

中村維男教授（情報科学研究科）がテイラー・ブース賞を受賞

中村維男教授（大学院情報科学研究科）が2004年IEEE Computer Society（米国電気電子学会計算機ソサイエティ）のテイラー・ブース計算機科学教育賞を受賞し、このほど10月21日（現

地時間）米国インディアナ州において、授賞式が執り行なわれました。

米国電気電子学会は、世界各国に36万人の会員を持ち、電子工学分野で世界的に最も権威がある学会の一つです。テイラー・ブース賞は、1989年

に創設され、同学会の計算機科学部門が毎年、計算機科学や計算機工学における教育の分野で卓越した業績を上げた個人1名に贈っているもので、国内からの受賞は2人目となります。

今回の受賞では、中村教授の業績のうち、国内では、東北大学、弘前大学、会津大学など、海外ではスタンフォード大学での情報科学教育と研究のさらなる充実、発展に尽力し、多数の大学教員を日米の大学に送り出したこと、並びに1997年から低電力マイクロプロセッサの国際会議（COOL Chips）を組織し、世界のIT分野の発展を支えたことが高く評価されました。

（情報科学研究科）

根元義章教授（大学院情報科学研究科）がIEEE から衛星通信貢献賞を受賞

根元義章教授（大学院情報科学研究科）が、2005年のIEEE Communications Societyの衛星通信貢献賞（Distinguished Contributions to Satellite Communications Award）の受賞者

として選出されました。同賞は、衛星通信分野の研究発展に卓越した業績を上げた研究者に贈る世界で最も権威のある賞であり、日本人の受賞は初めてです。

根元義章教授は1993年に我が国の実験衛星ETS-Vを利用した汎太平洋の国々との共同プロジェクト（愛称パートナーズ計画）に参加し、独

自にソフトウェアを開発し、世界初の静止衛星を使った衛星ネットワークの構築実験に成功しました。以来、世界の衛星通信の最前線で様々な先駆的な研究を展開してきました。近年、衛星ネットワークを活用した次世代コンピュータネットワークの構築技術が期待される中、衛星ネットワークと地上ネットワークとの融合による、地球をくまなくカバーするシームレスなネットワークの構築技術の確立およびそれを利用した大容量双方向通信の実現に向け、世界をリードする数多くの優れた研究業績を残しました。受賞はこれらの業績によるものです。

授賞式は11月30日に米国ミズーリ州セントルイスで開催された国際会議2005 IEEE Globecomに合わせ行われました。

（情報科学研究科）

第4回東北大学男女共同参画シンポジウムを開催

平成17年11月26日（土）に「第4回東北大学男女共同参画シンポジウム—どこまで進んだ大学の男女共同参画—」が、仙台国際センターを会場として開催されました。

シンポジウムに先立ち、総長特別賞授与式が行われ、本年5月28日に「離散幾何解析学による結晶格子の研究」により、自然科学の分野で優れた業績を収めた女性科学者に贈られる「猿橋賞」を受賞した、理学研究科小谷元子教授に対して、総長より「総長特別賞」が授与されました。今回の受賞は日本学士院賞を受賞した大野英男教授に続き、小谷元子教授が二人目となります。

シンポジウムでは、総長による開会宣言後、野家啓一男女共同参画委員長から「東北大学男女共同参画奨励賞（通称：沢柳賞）」の審査結果及び講評が発表され、続いて「第3回沢柳賞授賞式」が行われました。

今年度の受賞者は、研究部門：矢野恵美氏（法学研究科21世紀COEジェンダー法・政策研究センター研究員）、活動部門：石垣政裕氏（経済学研究科助手）、プロジェクト部門：畠山 正人氏（経済学研究科博士後期課程）、プロジェクト部門特別賞：松崎 瑠美氏（文学研究科博士前期課

程）の4名で、それぞれ総長より賞状及び奨励金の目録が手渡されました。

次いで、「大学の男女共同参画と学術の発展」という演目で大沢真理氏（東京大学社会科学研究所教授）による基調講演が行われ、出席した学内外関係者約230名は、熱心に聴講しておりました。

また、男女共同参画について、積極的な活動が続けている全国の代表的な大学の関係者（東京大学：大沢真理教授・名古屋大学：金井篤子男女共同参画室長・秋田大学：長沼誠子学長補佐・早稲田大学：弓削尚子助教授）をパネリストとしてお迎えし、本学の鈴木厚人副学長（前男女共同参画委員会委員長）を交え、パネルディスカッションが行われました。パネリストから各大学の取り組みについて紹介後、辻村みよ子副委員長の進行の下、我が国の大学における今後の課題、問題点等について議論が進められました。

シンポジウム終了後、同センターにおいて懇親会が開催され、野家委員長による挨拶の後、菅井邦明理事の発声で乾杯し、関係者のスピーチを交え、終始和やかな雰囲気の中で懇談が行われました。



（沢柳賞授賞式）



（シンポジウム風景）

（総務部総務課）

東北大学特色GPシンポジウムを開催

平成17年11月29日（火）マルチメディア教育研究棟（川内北キャンパス）において、東北大学特色GPシンポジウム「大学基盤教育における理科実験の新展開－文科系開講に向けて－」が開催されました。

当日は、学内外の大学及び高等学校関係者が多数参加し、坂本尚夫高等教育開発推進センター長による挨拶の後、北原和夫国際基督教大学教授から、「Science for all を目指して」と題しての記念講演がありました。

その後、学生実験棟に移動し平成16年度から実施の全学教育科目「自然科学総合実験」の授業を見学し、担当教員から実験に関しての説明がありました。

さらに、「文科系開講のニーズと課題」と題して、大野栄三北海道大学助教授、青木健一郎慶應義塾大学教授、須藤彰三東北大学教授から発表が



（坂本センター長による挨拶）

あり、3名の発表者と参加者による、理科実験の文科系開講等に向けて活発な討論が行われました。

今後の大学基盤教育における理科実験において、文科系・理科系といった、これまでの枠組みによらない新たな展開が期待されます。

（学務審議会
高等教育開発推進センター）

21世紀 COE プログラム「言語・認知総合科学戦略的研究教育拠点」 第5回『言語・脳・認知』国際学術フォーラム

去る10月28日（金）、29日（土）の両日、ホテル仙台プラザにおいて「第5回『言語・脳・認知』国際学術フォーラム：計算機科学と脳科学から見た自然言語－統合的視野を求めて」と題した国際フォーラムが東北大学21世紀 COE プログラム「言語・認知総合科学戦略的研究教育拠点」の主催、および東北大学・ザールラント大学・在日ドイツ連邦共和国大使館の後援により開催されました。出席者は、本 COE プログラムの関係教員や大学院生、また東京大学、法政大学、宮城学院女子大学、お茶の水女子大学、宇都宮大学、早稲田大学等の教員、学生や一般の方など約80人にのびりました。

本 COE プログラムは言語学を中心にして、脳科学、人工知能、心理学など言語科学の関連分野にまたがる研究教育拠点を形成し、言語の仕組みの解明とその応用を目的としています。今回のフォーラム開催の主な趣旨は、脳機能マッピング、言語心理学、コンピュータ言語学、言語処理の諸分野に関して最新の研究成果を披露し、新時代の言語科学の樹立に向けて討論を深めることにあります。この目的のために、本 COE プログラムおよび東京大学、北陸先端大学、法政大学、鳥取大学からの若手研究者が研究発表を行うと同時に、関連分野の世界的研究者5人を講師として招いて講演とディスカッションをお願いしました。

初日の招待講演では、まずドイツ・ポツダム大学のシュラバン・バシシュト助教授が「熟練した記憶想起としての文処理：計算モデル」として、作業記憶と文処理とを結びつける計算論的文処理モデルについて講演を行いました。続いて、本学大学院医学系研究科の森悦朗教授が「痴呆における意味の障害：脳内意味処理の手掛かり」と題して、脳損傷を原因とする言語障害の患者の症例を通じて、脳内意味処理の仕組みを探る講演を行い

ました。第2日には、ドイツ・ザールラント大学のマシュー・クロッカー教授による講演「実時間の理解における場面と発話の相互作用」があり、視覚による状況の理解が文理解に及ぼす影響についての研究報告がなされました。次に、同大学のマンフレート・ピンカル教授により、「フレームを用いた情報検索のための語彙・意味論的資源」として、意味格関係にもとづくインターネット知識ベース構築について講演が行われました。最後に、東京大学大学院情報理工学系研究科の辻井潤一教授の講演「計算論的アプローチは脳科学と言語学とをいかにして結び付けることが出来るか？」があり、同教授のこれまでの言語処理研究がヒトによる脳内での言語処理のモデル化を目指して行われたものであることが示されました。



（フォーラムによるディスカッション）

本フォーラムの締め括りとして行われた招待講演者によるディスカッションでは、参加者からの質問にもとづいて討議が行われるとともに、学際科学としての言語研究を目指す参加学生に対してアドバイスと励ましをいただいて、二日間のフォーラムを終了しました。

（国際文化研究科）

国際シンポジウム「動物科学の新展開」を開催

農学研究科は、「動物科学の新展開」と題した国際シンポジウムを11月17日（木）、11月18日（金）の2日間にわたりエル・パーク仙台を会場に開催しました。

本シンポジウムは、農学研究科が主催する第2回国際農学シンポジウムと農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センターが主催する第3回国際シンポジウムのジョイント・ミーティングです。

地球規模での環境問題に関連した持続型動物生産の発展と将来の展望を目指し、国際的な最新の研究成果に関する活発な討論と意見交換を行うことを目的に開催したもので、講演の研究領域は、動物の疾病、免疫、草地、管理、育種、生殖、栄養および生理等の多岐にわたり、海外から9カ国、11名の研究者を招待し、26題の講演と20題のポスターの計46題が発表されました。2日間で、14カ国、22人の海外の研究者を含む約300人の研究者と学生が参加しました。



（シンポジウム風景）

本シンポジウムでは、動物科学領域に関連する最新の研究成果および技術、さらには動物生産科学における将来の方向性等に関して、活発な質問や議論が展開され、盛会のうちに終了しました。

また、シンポジウム開催の前日には、大西理事をお迎えし、ウエルカムパーティーが開催され、なごやかに懇談が行われました。

（農学研究科）

**生命科学研究科「平成16年度研究科内グラント成果発表会」
並びに「平成17年度研究科内グラント授賞式」**

11月8日（火）、片平キャンパス内の材料・物性総合研究棟を会場に生命科学研究科「平成16年度研究科内グラント成果発表会」並びに「平成17年度研究科内グラント授賞式」が行われました。

生命科学研究科では、法人化と共に研究科グラント制度を立ち上げ、基礎研究の支援と若手研究者飛躍の助力を図ると同時に外部資金獲得の呼ぶ水の効果を目的に、研究科長裁量経費を原資として発足させたものです。

式に先立ち飯島研究科長から、17年度科学研究費補助金の教員一人当りの配分額は学内のトップクラスであり、18年度の科学研究費補助金申請額及び件数ともに対前年度比では確実な伸びを示しているとして、教員各位の不断の努力に謝意が述べられました。

授賞式では飯島研究科長から、今年度から生命科学研究科へ所属換となった青森市の浅虫海洋生物学研究センターの1名を含む3名の若手教員に、17年度グラント受賞者として賞状が授与され、併せて研究奨励賞として100万円が研究費として交付されました。



（成果発表会風景）

続く成果発表会では、16年度の第1回受賞者3名の教員が、日頃の研究紹介も併せ受賞テーマの成果発表を行い、質疑も活発に行われました。

懇親会では受賞者、発表者を中心に大学院生も多数交え和やかに歓談が続き、「学生にもオープンで非常に良かった。」「元気が出ます。」といった感想が教員から多く聞かれ、日頃分散状態の研究教育現場が融和された研究科グラント授賞式及び成果発表会となりました。

（生命科学研究科）

「東北大学 電気・情報 東京フォーラム2005」を開催

電気通信研究所は、本年70周年の節目の年であることからその記念の意味を込め、これまで毎年仙台で開催してきた産学官フォーラムを拡大し、「東北大学電気・情報 東京フォーラム2005 ―ユニバーサルコミュニケーション時代を拓く研究最前線―」をスローガンに掲げ、平成17年11月28日（月）にアルカディア市ヶ谷私学会館において開催しました。

フォーラムでは「エレクトロニクスと情報通信の未来」を基調テーマとし、NTTラーニング・システムズ株式会社代表取締役社長 飯塚久夫氏が「ユビキタス情報ネットワーク・サービスのインパクト」、スタンフォード大学アジア・米国技術経営研究センター所長 リチャード・ダッシャー氏が「未来を現実のものに」、東北大学電気通信研究所教授 大野英男氏が「スピントロニクスとその可能性」と題して、熱のこもったご講演がありました。

また、産学官の連携をより強化することを目的に行っている、大学院工学研究科、情報科学研究科等を含めた、東北大学における電気・情報に関



（講演会風景）

わる70余の各研究室の研究活動を紹介するパネル展示（デモンストレーションを含む。）に加え、今回は「2時間で分かる近未来IT基幹技術」と題して、研究分野を3コースに分けた先端技術セミナーを初めて開催しました。

今回の参加者は、自治体及び公的機関、大学、企業のほか一般市民の参加も多く見受けられ、600余名の参加者を得て大盛況のうちに終了しました。

（電気通信研究所）

名誉教授懇談会



(吉本総長の挨拶)

平成17年度名誉教授懇談会が11月29日（火）午後5時から、仙台ホテルにて名誉教授、吉本総長及び本学部局長等を合わせて、約100名が出席して開催されました。

はじめに、吉本総長から本学の取り組みや近況について紹介の後、「名誉教授の皆様には、今後も変わらずのご協力、ご支援を賜りたい。」との挨拶がありました。

続いて、名誉教授を代表して志村憲助名誉教授（元農学部）からの挨拶、加藤鐵三名誉教授（元薬学部）の音頭による乾杯の後、部局長等の紹介・叙勲受章者の紹介が行われ、懇談に移りました。また、鈴木厚人副学長より「ニュートリノの世界」についての説明も行われ、出席者は興味深く耳を傾けていました。

会場は終始和やかな雰囲気に入れられ、お互いの近況報告や往時の思い出話に花が咲き、楽しいひとときとなりました。



(参加者集合写真)

(総務部総務課)

第2回東北大学新任教員研修

第2回東北大学新任教員研修が平成17年11月11日（金）にマルチメディア教育研究棟2階マルチメディアホールを会場にして実施されました。

本研修は、全学教育担当教員を主な対象者として従来から実施してきた全学教育教員研修（FD）の趣旨と成果を踏まえ、平成17年度からすべての新任教員を対象に国立大学法人東北大学の教育・研究、社会貢献の一層の充実、向上を図ることを趣旨として実施するものです。

当日の研修では200名を超える新任教員が参加し、始めに本研修の企画をした坂本尚夫高等教育開発推進センター長から挨拶の後、吉本高志総長の講話、各理事、副学長等からの講話があり、参加した新任教員は講話、各講話を熱心に聞き入っていました。

本研修をととして、東北大学の目標、理念を知り、また本学の教員として優れた教育と研究、社会貢献活動に積極的に努めることができるよう大

学の基礎的な事項の理解と認識を促されることにより、1907年の開学以来、長年にわたり育んできた「研究第一主義」の伝統、「門戸開放」の理念を基づいた「研究中心大学」、「世界と地域に開かれた大学」、「指導的人材の養成」の中期目標に向かい参加した新任教員の今後の活躍がますます期待されます。



（講義を熱心に聞き入る参加者）

（人事部職員課）

平成17年度事務情報化研修

平成17年度事務情報化研修が、Excel 中級研修（11月15日～16日）、PowerPoint 研修（同17日～18日）、ホームページ作成研修（同21日～22日）の3コースを対象に開催されました。

本研修は、本学の事務情報化を推進するために、パソコン処理に関する知識・技術を習得させ、パソコンの円滑な活用による事務処理の効率化、合理化を図ることを目的として行われ、各部局等から推薦された職員（各コース共30名）が参加しました。

外部講師の指導により、Excel 中級研修では、関数やピボットテーブル、グラフの応用等について、PowerPoint 研修ではプレゼンテーションの作成の基礎や特殊効果を使った編集等、ホームページ作成研修では、作成の基礎、サイト管理等について受講しました。



（ホームページ研修風景）

受講生からは、Excel や PowerPoint、ホームページ作成についての知識・技術を習得することができ仕事に活かせる、といった感想が寄せられました。

（情報部情報推進課）

平成17年度「セミナー東北の自然（秋）」 《里山の自然観察》



(参加者による集合写真)

川渡共同セミナーセンター主催による「セミナー東北の自然（秋）」が、10月29日（土）～30日（日）の2日間、学生と教職員31名の参加で行われました。この行事は、セミナーセンターと農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター周辺に広がる丘陵地の美しい環境の中で、自然とのふれあいを通して自然に親しみ、豊かな人間性を養うことを目的として開かれているものです。

初日は開講式が行われ、参加者の自己紹介後に、このセミナーの講師である陶山助教授（農学研究科）より「本日の目的地である田代地区の調査地です。」とスライドを見ながら説明を受けました。この調査地にはこの春に研究観察用に建設された18mのタワーがあり、春にはタワーの頂上で5年ぶりという大豊作のブナの花を観察しました。今回（秋）はブナの実を観察するという事で、マイクロバスで出発。途中放牧中の牛や栗駒山を遠く見ながら六角牧場を通過し調査地に着きました。バスを降りる頃に小雨が降りだし、雨具に身を包んでタワーに登り、樹冠の景色を眺めたり、大豊作のブナの実を観察しました。このブナの実食べられるそうです。でも小さな実で拾うのが大変。拾って口にしたら学生は「うっ！旨い！」と

は言ってましたが・・・熊やネズミも食べるそうです。ネズミは分かるけど、熊はどれくらいの量を食べるんだろう？なんて考えてしまいました。その後、ブナの木が多い樹林帯を1時間ほど歩いて山を下りた後、次の目的地である鳴子峡へ向かいました。鳴子峡の紅葉は一番見頃の時期だったようで、展望台からの眺めは良かったです。（雨でなく青空だったらもっときれいで最高だったのに・・・と残念です。）今回は7名の留学生が参加しており、その内の台湾からの留学生は「こんなきれいな紅葉は見たことがないです。」と感動していました。皆さん景色の素晴らしさに大満足したようです。その後鳴子温泉で冷えた体を温めセミナーへ戻りました。夕食は恒例のジンギスカンで楽しい一時を過ごした後、宿泊棟へ移動して夜遅くまで懇談の輪を広げました。



(樹林帯の中で説明を聞く参加者たち)

二日目、昨夜の「天気祭り？」が利いたのか、前日の天気が嘘のように晴れ渡った青空の下、マイクロバスにて一松山県有林へと向かいました。ここにも先生の調査地（240m×250m）があり、面積6 ha、この広さの中に5千本の落葉広葉樹が自生しており、この樹林帯の分布は3つ（尾根、斜面、谷）に分けられるとのこと。尾根伝いには“ミズナラ”の木が多く、谷には“トチノキ”が

多いとのこと。樹林帯の中は紅葉と木洩れ日が最高にマッチしてとても気持ちの良い散策コースで、道は落ち葉でジュータンの上を歩くように柔らかでした。森を抜けて鬼首の片山地獄へ向かいました。ここは鬼首の地熱発電所の周辺に広がる火山地獄でいたるところで温泉や蒸気が吹き出ており、硫黄の匂いがする荒涼とした風景の場所

です。谷へ降りるとお湯が流れていて足湯を楽しむことが出来ました。足湯を堪能した後、荒雄湖畔公園へと向かいました。暖かい芋煮の鍋が皆の到着を待っており、おにぎりや芋煮のお汁で昼食を摂り、セミナーへ戻りました。閉講式を終え有意義な研修を無事終了することができました。

(教育・学生支援部)

牛たちも越冬のため下山

農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センターでは、11月8日（火）に山々の紅葉が終わりに近づく中、職員及び学生たち総出で放牧地に放していた牛たちを畜舎に戻す作業を行いました。

大自然の中で草を食べて大きく成長した黒毛和

種35頭、日本短角33頭の牛たちと、今シーズン放牧地で生まれた43頭の子牛たちは、職員の合図によりゲートを開放すると一斉にかけだし1時間ほどで畜舎に戻りました。牛たちは5月上旬まで畜舎ですごし、再び放牧されます。



(下山する牛たち)

**(農学研究科附属複合生態フィールド
教育研究センター)**

教育研究評議会議事要録

1 日 時 平成17年 9月20日（火）

13時～16時20分

2 場 所 良陵会館

3 出席者 吉本総長

早稲田 菅井 大西 徳重 高田 各理事
 鈴木 坂本 井上 里見 萩原 各副学長
 荒井（教） 植木（法） 日野（経）
 橋本（理） 渡邊（歯） 竹内（薬）
 井口（工） 秋葉（農） 浅川（国際文化）
 丸岡（情報） 飯島（生命） 新妻（環境）
 各研究科長
 帯刀（加） 井小萩（流） 中西（多元）
 各研究所長
 笹野病院総括副病院長
 萩原教育情報学研究部長
 平川東北アジア研究センター長
 清水（文） 水原（教） 稲葉（法） 佃（経）
 大槻（理） 菊地（歯） 榎本（薬）
 犬竹（工） 宮澤（農） 小林（国際文化）
 西関（情報） 水野（生命） 西山（流）
 仁平（教育基盤施設群） 各教授
 （本部事務機構等）

磯谷総長主席補佐 湯口総務部長

佐藤教育・学生支援部長

石川人事部長 辻財務部長 長沢施設部長

三枝広報部長

川添情報部長 佐野総務課長

白鳥企画調整課長

大川総務課課長補佐 岸野総務課総務係長

4 欠席者 庄子 吉川 各理事

野家副学長

菅村医学系研究科長 伊藤電気通信研究所長

柴原（医） 木村（環境） 小林（金）

貫和（加） 荒井（通） 岡（多元）

石井（学術基盤施設群） 各教授

5 議 事

（1）総長候補者推薦方法検討WGからの報告

渡邊総長候補者推薦方法検討WG座長から、
 「教育研究評議会における総長候補者の推薦に
 関する内規（案）」の「第2条第1項」中「第
 12条の投票通告の日」を「第11条の投票通告の
 日」に、また、「第16条」中「第3項」を「第
 2項」にそれぞれ訂正願いたい旨発言があった
 後、総長候補者推薦方法検討WGで検討した同
 内規（案）について説明があり、総長候補者資
 格としての学外者の取扱い及び推薦人方式の取
 扱いなどの各論点等について種々意見交換を行
 った。

なお、「教育研究評議会における総長候補者
 の推薦に関する内規（案）」については各部局
 に持ち帰り、10月7日（金）までに総務部総務
 課まで意見を提出することとした。

（2）百周年記念募金

中塚総長顧問から配付資料に基づき、百周年
 記念募金の申込状況について説明があった後、
 教職員の募金率向上に関し各部局で協力願いた
 い旨の発言があった。

（3）平成18年度概算要求

高田理事から配付資料に基づき、平成17年度
 対平成18年度の運営費交付金等の対比について
 説明があった。

また、井上副学長及び萩原副学長から配付資
 料に基づき、特別教育研究経費並びに施設整備
 費補助金等にかかる概算要求について説明があ
 った。

（4）青葉山新キャンパス整備事業

萩原副学長から配付資料に基づき、新キャン
 パス整備にかかる組織体制について説明があっ
 た。

続いて、高田理事から同整備事業のための学
 内資金の活用について説明があり、これを承認

した。

(5) 部局評価要綱及び部局自己評価報告書

鈴木副学長から配付資料に基づき、部局評価の目的及び同実施体制等について説明があった。

(6) 学位論文審査手当

徳重理事から配付資料に基づき、学位論文審査にかかる手当の新設及び同取扱いについて説明があり、これを承認した。

(7) 医工学将来構想検討委員会からの報告

井口工学研究科長から配付資料に基づき、本学における医工学将来構想について説明があった。

(8) 科学技術・学術審議会の審議状況等

井上副学長から配付資料に基づき、「国公立大学及び大学共同利用機関における学術研究設備の今後の新たな整備の在り方」及び「研究の多様性を支える学術政策」など、最近の科学技術・学術審議会の審議状況等について説明があった。

(9) 法学研究科における専攻の名称変更

植木法学研究科長から配付資料に基づき、専攻の名称変更について説明があり、これを承認した。

(10) 学部学生の懲戒

菅井理事から、工学部学生の停学処分について報告があった。

(11) 規程の説明

早稲田理事から配付資料に基づき、以下の規程の制定について説明があり、これを承認した。

- ① 東北大学学部通則の一部を改正する通則
- ② 東北大学大学院通則の一部を改正する通則
- ③ 国立大学法人東北大学施設整備・運用委員会規程の一部を改正する規程
- ④ 国立大学法人東北大学職員給与規程の一部を改正する規程

(12) その他

- ・坂本副学長から配付資料に基づき、プラクティカル・イングリッシュコースの開設について報告があった後、優秀な学生の応募について協力方要請があった。
- ・犬竹評議員から、サイエンスカフェの実施に伴う予算措置について要望があった。
- ・里見副学長から、今般新聞報道された医療事故の概要について報告があった。

以上

役員会議事要録

- 1 日 時 平成17年9月26日（月）
15時15分～15時55分
- 2 場 所 東京丸ビル23階「東京分室」
- 3 出席者
吉本総長
早稲田 菅井 庄子 徳重 高田
吉川 各理事
（陪席）
杉山 石井 各監事
（本部事務機構等）
磯谷総長主席補佐 佐野総務課長
- 4 欠席者 大西理事
- 5 議 事
 - （1）青葉山新キャンパス整備事業
高田理事から配付資料に基づき、青葉山新キャンパス整備事業及び同整備のための学内資金の活用と当面の課題に対する組織体制等について説明があった後、青葉山新キャンパス整備事業のための学内資金の活用について審議の結果、これを承認した。
 - （2）戦略スタッフの選考
菅井理事及び高田理事から配付資料に基づき、戦略スタッフ2名の選考について説明があり、審議の結果、これを承認した。
 - （3）大学間学術交流協定
庄子理事から配付資料に基づき、国際教育協

会及び昌原大学校との大学間学術交流協定の締結について説明があり、審議の結果、これを承認した。

（4）東北大学学部通則の一部を改正する通則
外3規程

早稲田理事から配付資料に基づき、以下の規程の制定について説明があり、審議の結果、これを承認した。

- ① 東北大学学部通則の一部を改正する通則
- ② 東北大学大学院通則の一部を改正する通則
- ③ 国立大学法人東北大学施設整備・運用委員会規程の一部を改正する規程
- ④ 国立大学法人東北大学職員給与規程の一部を改正する規程

（5）理事・副学長会議等議事の確認

早稲田理事から配付資料に基づき、理事・副学長会議等の議事について説明があり、審議の結果、これを確認した。

（6）その他

1）平成16年度に係る業務の実績に関する評価結果

早稲田理事から配付資料に基づき、「平成16年度に係る業務の実績に関する評価結果」及び「平成16事業年度財務諸表の承認」について報告があった。

以上

役員会議事要録

1 日 時 平成17年10月26日（水）

13時～13時20分

2 場 所 国立大学法人東北大学本部「総長室」

3 出席者

吉本総長

早稲田 菅井 庄子 高田 吉川 各理事
（本部事務機構等）

磯谷総長主席補佐 佐野総務課長

4 欠席者 大西理事 徳重理事

5 議 事

（1）学内規則の整備

早稲田理事から配付資料に基づき、学内規則の整備方針について説明があり、審議の結果、これを承認した。

（2）平成17年度傾斜配分

高田理事から配付資料に基づき、平成17年度傾斜配分の方針について説明があり、審議の結果、これを承認した。

（3）平成17年度総長裁量経費第2回配分

高田理事から配付資料に基づき、平成17年度総長裁量経費の第2回配分について説明があり、審議の結果、これを承認した。

（4）寄附講座の設置

庄子理事から配付資料に基づき、大学院医学系研究科高齢者高次脳医学寄附講座の設置について説明があり、審議の結果、これを承認した。

（5）規程の制定

早稲田理事から配付資料に基づき、以下の規程の制定について説明があり、審議の結果、これを承認した。

① 国立大学法人東北大学職員給与規程の一部を改正する規程

② 東北大学医療技術短期大学部学則の一部を改正する学則

（6）理事・副学長会議議事の確認

早稲田理事から配付資料に基づき、理事・副学長会議の議事について説明があり、これを確認した。

以上

役員会議事要録

1 日 時 平成17年11月16日（水）

13時～13時35分

2 場 所 国立大学法人東北大学本部「総長室」

3 出席者

吉本総長

早稲田 菅井 大西 庄子 徳重 高田

吉川 各理事

（本部事務機構等）

磯谷総長主席補佐 佐野総務課長

4 議 事

（1）組織変更申請

早稲田理事から配付資料に基づき、部局から申請のあった組織変更について説明があり、審議の結果、これを承認した。

（2）大学間学術交流協定

大西理事から配付資料に基づき、フランス国立中央理工科学学校5校との大学間学術交流協定の締結について説明があり、審議の結果、これを承認した。

（3）規程の制定

早稲田理事から配付資料に基づき、以下の規程の制定について説明があり、審議の結果、これを承認した。

① 国立大学法人東北大学環境・安全委員会規程の一部を改正する規程

（4）理事・副学長会議議事の確認

早稲田理事から配付資料に基づき、理事・副学長会議の議事について説明があり、これを確認した。

以上

経営協議会議事要録

- 1 日 時 平成17年9月26日（月）
13時30分～15時10分
- 2 場 所 東京丸ビル8階「Room4」
- 3 出席者
（学内者）
吉本総長
早稲田 菅井 庄子 徳重 高田
吉川 各理事
鈴木 坂本 井上 野家 里見
萩原 各副学長
井口工学研究科長
秋葉農学研究科長
笹野病院総括副病院長
（学外委員）
小田委員 加藤委員 北村委員 黒田委員
杉田委員 遠山委員
中村委員 藤井委員 八島委員 山野井委員
（陪席）
杉山 石井 各監事
（本部事務機構等）
磯谷総長主席補佐 湯口総務部長
辻財務部長 長沢施設部長
佐野総務課長 岸野総務係長
- 4 欠席者
（学内委員）
大西理事
（学外委員）
赤祖父委員 浅野委員 安西委員 飯島委員
小野寺委員 ダッシャー委員

5 議 事

（1）青葉山新キャンパス整備事業

萩原副学長から配付資料に基づき、青葉山新キャンパス整備事業、同整備（第1区分）に係る収入・支出見込額及び当面の課題に対する組織体制について説明があった。

続いて、高田理事から配付資料に基づき、青

葉山新キャンパス整備事業のための学内資金の活用について説明があり、審議の結果、これを承認した。

（2）平成16年度に係る業務の実績に関する評価結果

議長から配付資料に基づき、国立大学法人評価委員会による平成16年度に係る業務の実績に関する評価結果及び文部科学大臣による平成16事業年度財務諸表の承認について報告があった。

（3）平成18年度概算要求

議長から配付資料に基づき、平成17年度対平成18年度の運営費交付金等の対比について説明があった後、井上副学長及び萩原副学長から特別教育研究経費並びに施設整備費補助金等にかかる概算要求について説明があった。

（4）総長選考会議

議長から、教育研究評議会における総長候補者推薦方法に関する検討状況について説明があった後、経営協議会における総長候補者推薦方法に関し、配付資料に基づき種々意見交換を行った。

なお、経営協議会における総長候補者の具体的な推薦方法については、引き続き、検討することとした。

（5）百周年記念事業・募金

議長から配付資料に基づき、創立100周年記念事業募金の申込状況について説明があった。

（6）部局評価実施要綱

鈴木副学長から配付資料に基づき、東北大学における教育・研究・社会貢献等に係る部局評価の実施要綱について説明があった。

（7）人事院勧告

議長から、平成17年人事院勧告にかかる準備状況の概要について報告があった。

（8）その他

1) 医工学将来構想の検討

庄子理事から配付資料に基づき、東北大学における医工学将来構想について説明があった。

2) 内部監査

徳重理事から配付資料に基づき、平成17年度内部監査の基本方針について説明があった。

3) 当面する学生問題等

菅井理事から、旧有朋寮の建物明渡等請求事件にかかる判決の報告とともに、学生側が控訴した旨の報告があった。

4) アスベスト問題に対する検討体制

萩原副学長から配付資料に基づき、東北大学アスベスト対策チームの設置など、アスベスト問題にかかる対応について報告があった。

5) 総長特別賞

議長から配付資料に基づき、総長特別賞の授与について報告があった。

6) その他

- ・議長から、東北大学サイエンスカフェの実施について配付資料のとおり報告があった。
- ・議長から、カムランドによる地球反ニュートリノの検出について「Nature」に掲載された旨の報告があった。

以上

1月の行事予定

実施日	行 事 名	場 所 等
10日(火)・ 13日(金)・ 16日(月)・ 17日(火)・ 23日(月)・ 24日(火)・ 27日(金)	本 部 平成17年度業界企業セミナー	川内北キャンパス講義棟 B棟 101, 102, 103
26日(木)	平成17年度第1回就職支援セミナー(接遇・マナー講座)	川内北キャンパス講義棟B棟101
25日(水)～ 27日(金)	東北地区大学スキー体育大会	雫石スキー場
24日(火)	保健管理センター 健康科学セミナー	保健管理センター
6日(金)～ 10日(火)	理学研究科・理学部 ナビエ・ストークス方程式とその応用について	京都大学百周年時計台記念館
20日(金)	東北大学病院 第26回日本絶食療法学会	ホテルメトロポリタンエドモント (東京)
6日(金)・ 7日(土)	工学研究科・工学部 平成17年度東北地域災害科学研究集会および講演会	コラッセふくしま
24日(火)	第6回反応性プラズマ国際会議/第23回プラズマプロセス研究会	ホテル大観荘 (松島)
31日(火)・ 2/1(水)	第三回 COE 国際シンポジウム(IGNOIE-COE05)	仙台エクセルホテル東急
24日(火)・ 25日(水)	農学研究科・農学部 第39回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会	仙台市情報・産業プラザ(アエル6階)
25日(水)	医療技術短期大学部 平成18年度専攻科助産学特別専攻入学試験	医療技術短期大学部

本学関係の新聞記事一覧（平成17年11月分）

一覧は、次の新聞から本学に関係ある記事のタイトルを抽出したものです。記事は広報部広報課で整理しております。

[河北（朝刊、夕刊）、朝日、毎日、読売、産経、日刊工業]

なお、この記事は東北大学ホームページにも掲載しております。

No	記 事	月 日	新聞等名
1	終戦間近 皆で見た一冊の文集 阿部次郎の教え子、原田さん講演	11.1(火)	毎日
2	中国・大連観光関係者 魯迅が学んだ東北大を視察	11.2(水)	河北
3	秋の褒章に19人栄誉 学術や公 共業務などで功績	11.2(水)	河北、読 売、日刊 工業、産 経
4	アインシュタイン「奇跡の年」 から100年 身近な不思議体験を 中高生対 象にイベント	11.2(水)	河北
5	東北大スクエアで開発中の「歩 数計」歩く・走る 動きを判別	11.3(木)	朝日
6	防げ 医療事故 専門外も知恵 初の学会設立へ	11.3(木)	朝日
7	苦悩の心情生々しく 東北大史 料館で特別展 学徒動員の写真など60点	11.3(木)	河北
8	心臓病治療で体外から衝撃波 臨床試験に着手	11.5(土)	河北、読 売
9	学生が模擬裁判 東北大実行委 欠陥住宅テーマに	11.6(日)	毎日
10	24時間コンビニ誘致 東北大・ 青葉山キャンパス	11.8(火)	読売
11	原子炉の非破壊検査技術 東北大が米と共同研究	11.8(火)	日刊工業
12	半導体素材の液体シリコン 熱伝導率測定法を開発	11.8(火)	河北
13	医師不足 臨床研修必修化で拍車 大学頼れず新確保策	11.8(火)	朝日
14	川島隆太の 脳トレ	11.9(水)	河北(夕)
15	プレート屈曲確認 東北大など 研究グループ探査 破壊の進行食い止める? 8月 の宮城県沖地震の震源付近	11.10(木)	産経
16	糖尿病患者への膵島移植 1月 末にも実施態勢 東北大病院、患者登録へ	11.10(木)	読売

No	記 事	月 日	新聞等名
17	19日東北大 高校生対象に幾何 学教室 数学の面白さ 教授が「証明」	11.11(金)	河北
18	模擬裁判で欠陥住宅考える	11.11(金)	河北
19	東北大学生有志の裁判劇 今年のテーマは「欠陥住宅」	11.12(土)	産経
20	楽天球団・キーナート氏 東北 大特任教授に	11.12(土)	毎日、朝 日、読売
21	健康寿命語ろう 19、26日に講 座	11.12(土)	河北
22	869年に仙台平野襲った貞観津 波 規模はスマトラ級か	11.12(土)	河北
23	汚泥が資源になる? 太陽光使い 水素分離 ユニーク研究熱視線	11.13(日)	産経
24	裁判劇で知る 欠陥住宅問題 東北大法学生が上演	11.14(月)	朝日
25	証券取引監視委構成などを紹介 東北大で出前講座	11.14(月)	河北
26	コメ産地 DNAで判別 塩基 配列変異種に着目 東北大など開発	11.14(月)	河北
27	麻酔科医がいない 上 外科医 が代役常態化	11.15(火)	朝日
28	あの日 あの時 海を生かす心 に共感 森 勝義さん	11.15(火)	河北
29	「狩野文庫」に見る江戸の食 国内有数資料基に 東北大図書 館が企画展	11.16(水)	毎日
30	留学生を講師に トルコ料理教 室	11.16(水)	毎日
31	麻酔科医がいない 下 過重勤 務で悪循環	11.16(水)	朝日
32	科長に植木氏再選 東北大法 学研究科	11.17(木)	河北、読 売
33	キーナート氏を特任教授に任用	11.17(木)	河北、産 経、読売、 毎日、朝 日

No	記 事	月 日	新聞等名
34	退任後は地方自治の「先生」 浅野宮城県知事 来月から東北大学院客員教授に	11.17(木)	河北
35	精子や卵子形成時の染色体組み換え 特定タンパク質が促進 東北大グループ マウスで効果確認	11.17(木)	河北, 毎日
36	8.16地震「宮城沖」の分割型 東北大分析 震源域南東だけ滑る	11.18(金)	河北
37	東北の全医師勤務実態探る データ基に改善策を提言	11.18(金)	河北
38	「行政経験など研究にプラス」 浅野知事の教授就任 東北大学院が発表	11.18(金)	河北, 産経, 読売, 毎日, 朝日, 日刊工業
39	宮城県沖地震に備える ブロック塀対策10%前後 石巻など3市東北大調査	11.18(金)	読売
40	建物の非構造部材耐震指針見直しを 8・16地震緊急報告 仙台で自然災害学会	11.19(土)	河北
41	中国・新華社通信 副社長ら4人 魯迅をしのぶ 東北大を見学	11.19(土)	河北
42	糖尿病の怖さ学ぶ 仙台・医学講座に150人参加	11.19(土)	河北
43	宮城県沖地震に備える 「8・16」震源北西で可能性 東北大が GPS 分析	11.20(日)	読売
44	ニュートリノ観測施設「カムランド」 地球の構造“覗く”扉	11.21(月)	産経
45	ハエの求愛相手の性別決定 遺伝子の働き解明	11.22(火)	河北
46	経済界トップインタビュー J-オイルミルズ佐々木農二社長に聞く	11.23(水)	河北
47	微小地震が急増 8・16宮城地震の直前 「県沖」予測に期待	11.24(木)	毎日

No	記 事	月 日	新聞等名
48	東北大医師派遣 要請508件 対応2割弱 今春 仙台や大病院に集中	11.24(木)	河北
49	人工食道でぜん動運動 東北大研究グループが開発 内視鏡手術可能に	11.25(金)	読売, 毎日, 日刊工業
50	人工食道 波打つ動き 形状記憶合金で再現	11.26(土)	河北, 朝日
51	熱伝導率を精密に測定 シリコンで東北大	11.26(土)	朝日
52	ソ連とロシアテーマに講演会 来月東北大センター	11.26(土)	産経
53	産婦人科医が足りない 状況郡部で特に深刻	11.27(日)	朝日
54	東北大教授陣が研究内容を説明	11.27(日)	河北
55	「はやぶさ」技術開発 東北大グループ 英知 世界へ示した	11.27(日)	河北
56	動く人工食道 東北大チーム開発	11.28(月)	産経
57	「原発震災」不安へ対応 女川町が職員対象に研修会 東北大教授ら施設の現状解説	11.28(月)	河北
58	健康情報の読み方 1	11.28(月)	毎日
59	ノーベル賞候補が集結 新海・藤嶋・飯島の3氏 仙台でそろって講演	11.29(火)	日刊工業
60	仙台の犯罪ゼロ目指し 東北大生らパトロール	11.29(火)	産経
61	卸町の活性化策探る 国際建築ワークショップ開幕	11.29(火)	河北
62	知る学ぶ 東北大付属図書館主催「江戸の食文化」展 狩野文庫の90点 目からうろこ	11.30(水)	産経
63	父方・母方の遺伝子を組み換えるたんぱく質 東北大・松居教授ら発見	11.30(水)	朝日
64	アスベスト損傷・劣化 東北大93か所で	11.30(水)	読売, 朝日

百周年記念事業シンボルマークについて



東北大学の頭文字「T」と無限大のカタチを融合させ、北の空に輝く北斗七星とともに永遠に歩いていく姿を現しています。

発 行 東北大学広報部広報課

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1番1号
電 話 022 (217) 4 8 1 7

URL <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/koho/gakuho/gakuhotop.html>